

再考 備後福山城



「資料は何を伝えているのか？」

今、備後福山城に必要なものは、
定説にとらわれないゼロベースでの研究。
改めて資料の再検討を行い、
最新の研究の成果から、近世城郭の到達点であり、
最高傑作である備後福山城の真価に迫る。

講師：野毛 幸司

広島県立文書館文書調査員
第4回広島文化新人賞受賞

【講師プロフィール】

福山生まれの福山出身。小学校高学年のころから、福山城に興味を持ち調べ続けて30年以上。
福山市文化財協会、福山城博物館友の会、宮原直御頭彰会において論文の発表。
福山城サイン部会、『福山城資料集』編集に参加。

2025年 8月30日(土)

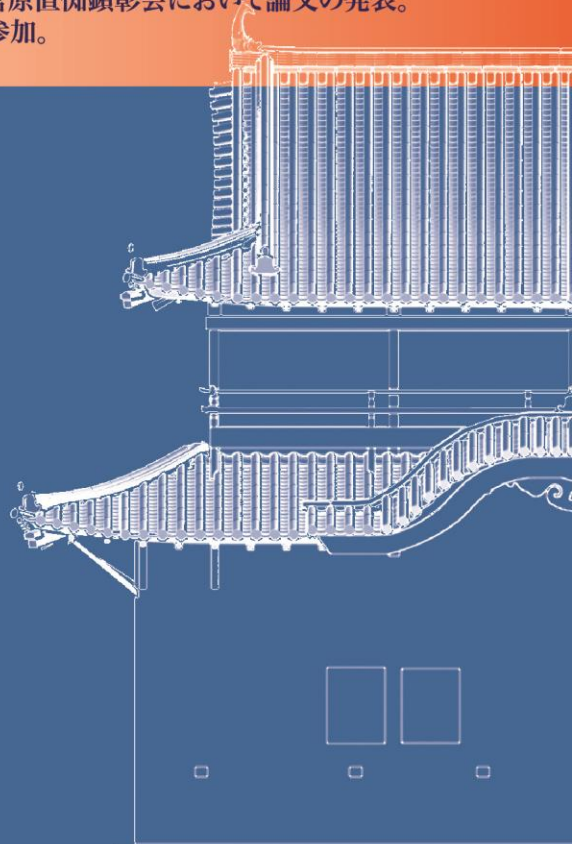
13:30~15:00 (開場13:00)

広島県民文化センターふくやま
地下1階文化交流室

〒720-8519 福山市東桜町1番21号

参加無料 申込不要

先着 100名



月見櫓復元図

問合せ：広島県民文化センターふくやま ☎084-921-9200

主催：広島県民文化センターふくやま 共催：公益財団法人ひろしま文化振興財団

後援：広島県 福山市 福山市教育委員会 福山市文化財協会 福山城博物館友の会
福山開祖水野勝成公報恩会 備後表継承会 エフエムふくやま

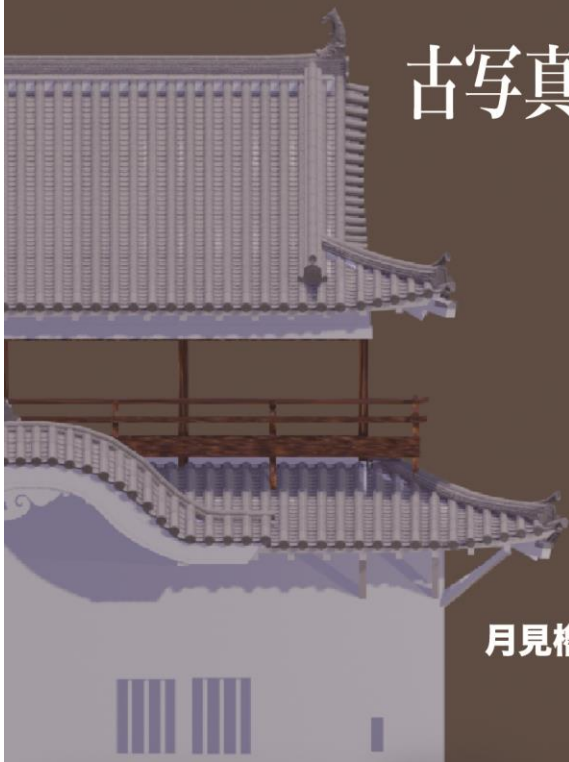
古文書には、どのように記録されているのか？

櫓や門の名称、神辺城からの移築、伏見櫓、天守...
明確にされていない問題は、まだまだ山積している。
これらの問題を、古文書を中心とした資料から、
明らかにしていく。



福山本城
一 天守名敵進山長久寺と稱 石垣が棟近高
一 石尺より云是六三五寸計なる云高が實
一 間敷也
一 本丸より内井より内より大倉本と云是副丸
一 南北上坪七拾之間東西拾之間 但石垣
一 南北百拾門 東西百拾門 右日新

古写真からよみがえる 備後福山城



月見櫓復元CG



御風呂屋復元CG

現在製作中のCGから月見櫓と御風呂屋を初公開！！



新発見 備後福山城の魅力

2024年 7月13日(土) 広島県民文化センター ぶくやま

昨年の講演の様子はコチラから
ひろしまアートラウンジ事業 講演会
新発見「備後福山城の魅力」第1部

